

8月19日：VN指数は続落するも、海外勢の資金流入が下支え

出来高は2週連続で減少したものの、VN指数は週間で6週連続の上昇となった。ホーチミン、ハノイ両取引所への外国人投資家の資金流入は、好材料としてとらえられた。

先週のVN指数は0.35%安の1269.18ポイント、HNX指数も同様に下落し、1.08%安の297.94ポイントで取引を終えた。

週間で見ると、VN指数は0.54%上昇したが、HNX指数は1.8%下落した。

ホーチミン証券取引所の売買代金は、先週から0.5%増の78兆2,000億ドン（33億米ドル）、出来高は7.5%減の300万株超であった。

一方ハノイ証券取引所では、売買代金が前週比19.3%減の7兆9,000億ドン、出来高は21.4%減の4億700万株超が取引された。

先週の株式市場は、すべての指数が上値抵抗線あたりまで上昇したことで、継続的な売り圧力が上値を抑えた。

外国人投資家はホーチミン、ハノイの両取引所で合わせて6,157.1億ドンを引き続き買い越した。

このうち、SSI証券（SSI）が2,540万株と最も多く買われ、サコムバンク（STB）が1,320万株、ヴィエティンバンク（CTG）が750万株と続いた。

反して最も売られたのはキンバックシティ（KBC）で、740万株が売られた。

サイゴンハノイ証券によると、8月限VN30-Index先物が先週期限を迎えたものの、株式市場は上昇基調を維持した。しかし、投資家の緊張感が高まった。

これは、キャッシュフローが僅かに減少したことや、株価の変動が軽微であったことに示されている。

テクニカル面では、VN指数は1,260～1,285ポイントのボックス圏で動いており、成長性の高い銘柄への買い需要と高値圏での売り需要を吸収し、推移している。

「長期的な観点から見れば、過去5年間の平均と比較して、バリュエーションは低水準にある。投資家は合理的なポートフォリオを見直すべきであり、2022年第3四半期に成長が見込まれる銘柄や、第2四半期の業績が良好であった銘柄を仕込むことができる。」とSHSは述べている。

一方、MB証券(MBS)は、「最近のマーケットには修正の兆しがある。」と述べている。指数が上昇するなかでも、多くの個別銘柄が下落した。

「テクニカル的に、VN指数は修正の兆候がある。それ故に、投資家は相場全体があまり上昇していない中でも、強く反発した銘柄を徐々に利益確定することができる。」

(MB証券)

「VN指数は1,283ポイントまで上昇した後、急激に下落し、短期的な修正リスクに直面するだろう。」(ミラエアセット証券)

現在の短期トレンドは横ばいだが、このトレンドの支持水準は1,265ポイントであると証券会社は指摘している。一方中長期的なトレンドとしては、上昇トレンドが続いており、下値抵抗線は1,250ポイントであると考えられる。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。